

# 洪水の要因と注意点等

## 洪水の要因

- 1.台風:**反時計回りに、うずを巻くように風が吹いており、特に台風の東側では強風と大雨に注意が必要です。
- 2.線状降水帯:**次々と発達した雨雲が列をなし、数時間にわたって同じ場所を通過または停滞する線状の大雨です。
- 3.局地的な大雨(ゲリラ豪雨):**大気の状態が不安定な時に、急激に雨雲が発達します。



## 避難の注意点 (①~⑧は下記のイラストで確認できます。)

<p><b>非常持ち出し品の準備を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持ち出し品の場所を家族で確認しましょう。</li> <li>すぐに持ち出せる場所におきましょう。</li> <li>定期的の中身を確認しましょう。</li> </ul> <p>裏表紙▶非常持ち出し品</p>	<p><b>避難する前に確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガスの元栓を閉め、電気スイッチ、ブレーカーを切りましょう。</li> <li>もし火が出た場合は、落ち着いて初期消火を行いましょう。</li> <li>家族の安全を確認し、親族や知人に避難することを連絡しましょう。</li> </ul>	<p><b>正確な情報収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デマに注意しましょう。</li> <li>最新の情報を入手しましょう。</li> </ul> <p>P38▶情報の伝達と入手先</p>
<p><b>① 複数人での避難を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の中、子どもや高齢者の同伴避難は、通常の2倍の時間を要するといわれています。</li> <li>みんなで協力しあい、早めに避難しましょう。</li> </ul>	<p><b>② 要配慮者への協力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦や体の不自由な方には複数人で協力しましょう。</li> <li>目や耳の不自由な方には、同伴して避難しましょう。</li> <li>外国人の方がいる場合は、避難誘導を心掛けましょう。</li> </ul>	<p><b>③ 車での避難を控えましょう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通渋滞で動けなくなることがあります。</li> <li>浸水し故障することがあります。</li> <li>渋滞により救急車両の妨げになることがあります。</li> </ul>
<p><b>④ 川に近づかない!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大雨・洪水時の河川は水位が短時間で急上昇するため、気づいてからでは逃げられません。</li> <li>大変危険なので、絶対に近づかないでください。</li> </ul>	<p><b>⑤ 適切な避難方法</b></p> <p>洪水時の避難方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>垂直避難(頑丈な建物等の高いところへの避難)。</li> <li>浸水しない地域の親戚・友人宅へ避難。</li> <li>浸水しない場所での車中泊避難。</li> <li>近くの避難所へ避難。</li> </ul>	<p><b>⑥ 屋内安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浸水が始まっているとき、外で移動するのは大変危険です。</li> <li>浸水がすでに始まっている場合は、今いる建物内で垂直避難。</li> </ul>
<p><b>⑦ 地下は危険!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短時間の大雨により、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開かなくなったり、階段を上がれなくなります。</li> <li>地下からは、早く避難しましょう!</li> </ul>	<p><b>⑧ 避難の時は足元注意!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホールや側溝等をよく確認し、注意して避難しましょう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなります。</li> </ul> <p>大人男性…水位70cm以上は危険 大人女性…水位50cm以上は危険 子ども…水位20cm以上は危険</p>	<p><b>アンダーパスに注意しよう!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンダーパスとは、交差する鉄道や道路等の下を通過するため、地形的に雨水が集中しやすい場所です。</li> <li>大雨、洪水時は、自動車での侵入はやめましょう。</li> </ul>

## 浸水の種類

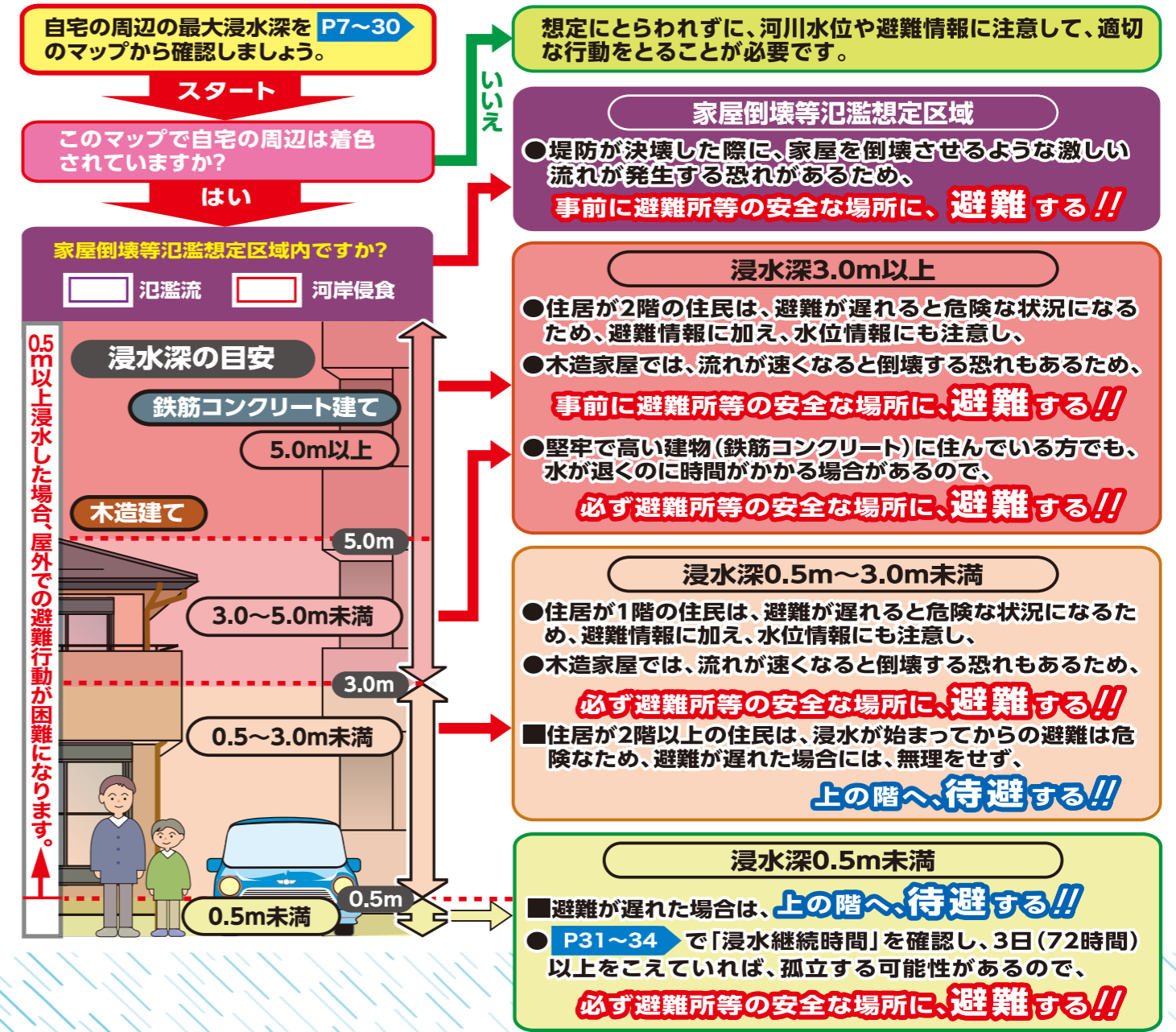


**外水氾濫**  
河川の堤防から水が溢れる、または堤防の決壊により家屋や田畑が浸水すること。



**内水氾濫**  
住宅地等の排水が困難となり浸水すること。

## 「浸水の深さと継続時間に関する避難行動」 下記のフローを参考に適切な行動をとりましょう。



## P7~34 のマップで自宅や避難所周辺の危険を確認しましょう。

